

邑南町過疎地域持続的発展計画（素案） パブリックコメントに対する邑南町の考え方

番号	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方・対応
1	移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	<p>邑南町にどのような人材が何名必要としているのか。そのための人材育成にどのようなインセンティブを提供するのか。</p> <p>「来てもらうこと」「住んでもらう」「働いてもらう」の3点の取り組みを繋がる施策として取り組む。</p>	<p>ご提案の「来てもらうこと」「住んでもらう」「働いてもらう」の3点をつなげた施策については、重要な視点であると考えています。</p> <p>まずは、邑南町の魅力を知っていただくことで交流人口を増やし、そこから継続的に関わっていただく関係人口へと発展させていくことが大切です。そのうえで、最終的にUIターンによる移住・定住につなげていくことが大きな課題であると認識しています。</p> <p>そのために、計画に記載しているとおり、・地域資源をさらに磨き上げ、体験や交流の機会を広げること・定住コーディネーターを配置し、移住希望者へのきめ細かな支援を行うこと・空き家バンクの活用を進め、住まいの確保を支援することといった取り組みを継続します。</p> <p>そして、これらを個別の施策として行うのではなく、「来訪」から「定住」、さらに「就業」までが切れ目なくつながるよう、施策間の連携をより一層深めていきたいと考えています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の事業展開における重要な検討課題といたします。</p>

2	産業振興	産業振興が雇用創出につながっているかに疑問がある。補助金依存構造があり、終わると離れる流れが止まらない。注力する事業を決め、重点的に取り組んで行く方がよいのではないか。	ご指摘のとおり、注力する事業を明確にすることは重要であり、本町では基幹産業である農林業を生かした6次産業化や地域産品のブランド化を引き続き推進するとともに、担い手の確保・育成に取り組み、さらに官民一体となって地域内消費の啓発活動を進めることで地域経済の循環を強化してまいります。一方で、産業振興を特定の事業のみに集中させるのではなく、それぞれの事業の持続可能性を高め、自立した経営基盤を築くことが重要であると考えており、その積み重ねが町内での安定した雇用確保につながるよう取り組んでまいります。
3	地域における情報化	事業主体が邑南町のみであるため、ケーブルテレビ事業における、テレビ、インターネットが都市部の水準に比べ遅れている。今後、設備の更新も必要となるがその方向性が示せていない。	ケーブルテレビ事業については、ご指摘の施設維持が課題のひとつである一方で、機器の更新とともに機能強化を適切に進める必要があります。ニーズや他事業者の動向も踏まえ適切に検討してまいります。
4	結婚・子育て環境の確保	結婚・子育てに関係する世代が、移住・定住に繋がるように、必要とされる人材の確保と合わせて取り組んでいただきたい。若年層の移住、定住に繋がるインセンティブも必要になると考える。	産業振興においても、担い手確保は重要な取り組みになります。その上で若年層や子育て世代は、本町の将来を担う重要な人材であると認識しております。移住定住のインセンティブについては、子育て支援を引き続き充実させるとともに、住み心地の良い町と多くの人を感じ、PRできるよう取り組んでまいります。
5	教育の振興	邑南町内の小中高学校と地元企業が一体となって、将来の邑南町で必要とされる人材を子供たちに伝える。	ご指摘承りました。 邑南町ではこれまで、子どもたちが地域の「ひと・もの・こと」について学ぶことで、ふるさとに誇りや愛着を持てるよう「ふるさと学習」を進めてまいりました。今後もこれを「おおなん学」として位置づけ、引き続き積極的に支援してまいります。

			<p>す。さらに、小中高等学校と地元企業、地域住民が連携し、地域の課題について対話しながら共に解決を目指す学びの機会を充実させていきます。その過程で、地元で働く大人を身近なロールモデルとして感じられるようにして、子どもたち一人ひとりが「この町でどのように生きていくか」という将来のビジョンを描けるよう導いてまいります。</p>
6	集落の維持、活性化	<p>地域運営組織の形成に努めていくが、住んでいる居住地は動かない。地域の助け合いが必要となる場面も増えていく。人と人の繋がりを支援する必要もある。</p>	<p>過疎地域持続的発展計画の上位計画である邑南町第3次総合振興計画では、「地域とつながり、挑戦を育む町」を理念としています。人口減少や高齢化が進む中でもこれまで以上に地域での助け合いや支え合いが重要になります。そのため町では、地域運営組織の形成や充実を支援しながら、「地域とのつながりがある安心感」を大切にしていきます。</p> <p>また、人と人とのつながりを支えることで、地域の中に新たな活動や挑戦が生まれる土壌を育て、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりを進めていきます。</p>
7	町民の一体感の更なる醸成	<p>町民に分かり易く情報を提供するため、世代別に配布する資料や説明会をしていくことが重要。行政だけでなく、町民が何をしないといけないのか伝えることも重要。</p>	<p>ご指摘承りました。町民の皆さんにわかりやすい情報提供に努めるとともに、町長が施政方針を直接町民に説明する機会を持つことや住民会議を開くなどの町民との協働のまちづくりを進めます。その際には、行政の取り組みだけでなく、町民の皆様にご担っていただきたい役割やご協力をお願いしたい事項についても、より明確にお伝えできるよう工夫してまいります。</p>

町内に住所を有する者 1人